



横浜市立長津田小学校 学校だより

自ら学び たくましく 心豊かな子

平成29年1月号

平成29年1月10日発行

校長 鷲山龍太郎

大山街道と長津田宿の探究

～6年生が総合的な学習の時間で初めて挑戦した郷土史の探究活動～

校長 鷲山龍太郎

平成29年、2017年が幕開けとなりました。明けましておめでとうございます。旧年中は、保護者の皆様、地域の皆様の多大なるご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。新年にあたり、職員一同、学校経営方針を共有して、心一つに、子どもたちの健全な成長を支える学校づくりに邁進していく所存です。本年も引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●昔も今も大山街道が貫く長津田小学区～大山街道と長津田宿を語れる地域人を育てたい！～

素長津田小学校の正門脇には、旧大山街道が原型をよく保った状態であり、子どもたちは町探検で、長津田宿の象徴でもある常夜灯などの史跡に触れ、長津田囃子や、長津田の農業に学びながら育っています。大山街道は、子どもたちの半数以上が渡る国道246号線、東名高速道路、田園都市線～小田急線へと「進化」し、文字通り、日本の大動脈として、本校学区を川の字に貫いています。それが、便利で豊かなこの地域の発展の基盤になっていると考えられます。6年生には、大山街道や長津田宿の歴史を主体的に学び、この町の歴史を語れる地域人として卒業してほしい。その願いをもって、6年生の総合的な学習の時間で、大山街道と長津田宿を探究する教育活動を、6年担任と校長とで探究しました。長津田大山開運講の皆様にご同行を許され、詳細なりサーチができたため、初の6年大山見学を実現できました。

●「総合的な学習の時間」で「大山詣で」「納め太刀」の文化を体験

12月2日(金)いよいよ、6年生が大山見学に出発します。絶好の晴天に恵まれての出発となりました。「現代の大山街道」である小田急線に乗って進みます。車窓から見ると、ピラミッド型の大山がぐんぐん迫ってきます。伊勢原駅から直行便を二台用意していただき、「大山ケーブル」に到着。6年生には、宿坊、おおすみ山荘の先導師、佐藤氏のご配慮で、全員に木太刀が渡されました。大山を崇敬し、戦勝祈願に太刀を納めた源頼朝の故事にならい、江戸時代に大流行し、平成28年に「日本遺産」となった「納め太刀」を体験します。標高700mの阿夫利神社に到着相模湾に浮かぶ江の島まで見渡せる絶景でした。



阿夫利神社標高700mから相模湾を眺望



阿夫利神社で「納め太刀」に使われた太刀に触れる

●阿夫利神社神主様の歴史講話を聴く～これまで学んだ歴史学習を総括～

阿夫利神社神主目黒氏のご配慮で、文化学習として、宮中に入れていただくことができました。まずは、下から各自が運び上げた「太刀」を納めます。きちんとした作法で江戸時代の人々の思いを想像しながら太刀を納めました。平成28年に「日本遺産」となった「大山詣で」「太刀納め」を体験したのです。巨大な太鼓の音に始まり、神主目黒氏のご講義を受講することができました。

縄文時代から、江戸時代まで、歴史を学んできたこの時期の6年生は、源頼朝や北条氏、徳川家康など、知っている知識と結びつけながら熱心に受講し、正確にメモをとっていました。

●大山宿坊体験で「豆腐料理」と先導師様の話～山を下りた修験道者が宿坊を運営し詣でを勧進～

昼食は三つの宿坊に分かれて、大山名物、豆腐料理の昼食をとりました。修験道者たちが、味方した北条氏の滅亡後、下山を命じられて江戸時代に宿坊を運営。関東一円に参拝を勧進し、関東一円から大山詣でが「講」を組織して盛んとなった、江戸時代から歴史。豆腐料理は、寄進された大豆と丹沢の名水から作られた大山名物であることも、先導師様からのお話で、豆腐料理の味とともに学ぶことができました。

●長津田宿の歴史を学ぶ～こんなにも発展してきたこの町～

12月14日には、長津田の歴史を研究されてきた河原一朗氏に歴史講師としてご講義をいただきました。街道の変遷、長津田宿とこの町の変遷を、過去の回想スケッチなど貴重な資料や写真とともに学ぶことができました。6年生は、これまでの歴史の総まとめとして、熱心に聴き入り、自分たちなりの、「大山街道・長津田宿」の歴史観をもつことができましたようです。

温かくご協力いただきました、阿夫利神社様、長津田大山開運講の皆様、大山おおすみ山荘様、王子神社様、大林寺様、福泉寺様、河原一昭様、小林薫様、井上哲雄様、その他、多くの皆様にお礼申し上げます。

□「長津田小学校」ホームページをぜひご覧ください。6年大山見学の様子も、豊富な写真で紹介しています。

